

地域おこし協力隊～活動までの基本的な流れ～

地域おこし協力隊の募集から実際の活動までの一連の流れの中で、地域要件等の地域おこし協力隊に係る諸条件の確認のほか、隊員がスムーズに活動できるよう、活動開始前や活動中における関係者間での取組方針の共有やバックアップなどに留意することが円滑な運営のポイントとなる。

【凡例】 ○具体的手順 ※留意点

①予算措置

- 議会の議決
- ※対象経費に留意
- ※地域おこし協力隊の導入に係るコンセプトの明確化

②協力隊 実施要綱等の作成

- 地域の受入れニーズの把握
- 実施要綱、設置要綱の作成
- 募集要項（業務概要、待遇等を記載）の作成

③協力隊員の募集

- 団体のサイトや広報誌等で公募
- 一般社団法人移住・交流推進機構（JOIN）サイトの活用
- 移住・交流情報ガーデンの活用
- 都市部での説明会の実施

④協力隊員の 選考・面接

- 候補者の要望聞き取り
- ※地域要件に留意

⑤協力隊員の 決定

⑥事前説明・準備

- 隊員への事業の詳細の説明
- 地域での協力隊の役割、心構えなどを学ぶ研修の実施
- 現地説明会の実施（住民との顔合わせ）
- 隊員の年間活動計画の策定
- 隊員の生活環境のサポート

⑦隊員の委嘱手続き～活動開始

- 隊員の住民票を移動、委嘱状交付 ⇒ 活動開始
- サポート体制の構築（研修の実施、隊員の活動状況の把握、隊員からの相談体制の整備、地域サポート人ネットワーク全国協議会の活用等）
- 隊員の活動状況をサイト、広報誌等でPR
- 地域内外との交流の機会の確保
- 任期終了後の隊員の定住・定着に向けた支援
- 特別交付税の基礎数値報告